

学会通信 第9号

2025 年
4 月
11 日

Seirei International Education Society

聖隷国際教育学会

新会長より一言

聖隷クリストファー大学国際教育学部 教授 二宮貴之

表 1 は、文部科学省のデータを参考に筆者が作表したのですが、ご覧の通り、年々全国の小学校及び中学校に通う児童生徒の通級指導を受けている数は増加し続けています（文部科学省：新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議報告 有識者会議参考資料 10 より）。さらに倍率の箇所にも目を向けると、H18 と R1 の対比では、情緒障がい：6.61 倍、自閉症：6.55 倍、学習障がい：16.57 倍、注意欠如・多動性障がい：15.15 倍となり、高倍率になっています。この結果は、小学校や中学校だけの問題に留まらず、幼児教育から連続する全ての教育において影響するものだと考えられます。子どもの立場、指導者の立場、有識者の立場、それぞれの立ち位置から「発育」や「支援」に関する保育・教育研究を推進する必要性は高いのではないのでしょうか。

また、我々の学会の本拠地である浜松市では「発達支援教育」に注力し、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもを対象とした健やかな成長・発達の支援を目指す先駆的な取り組みを行っており、「発育」、「発達」、「支援」というキーワードは、学会が扱う内容としても切っても切り離せないものだと考えています。

表 1 全国の通級による指導を受けている児童生徒数の推移

種別	H18	H25	R1	倍率(R1÷H18)
言語障がい	29,713	33,606	39,691	1.34倍
弱視・難聴・肢体不自由・病弱等	1,943	2,262	2,606	1.34倍
情緒障がい	2,898	8,613	19,155	6.61倍
自閉症	3,912	12,308	25,635	6.55倍
学習障がい	1,351	10,769	22,389	16.57倍
注意欠如・多動性障がい(ADHD)	1,631	10,324	24,709	15.15倍

が、コロナ禍の影響による生活リズムの乱れや登校意欲の減少、特別な配慮が必要な子どもへの指導・支援の不足なども一因とする見方もあります。

表 2 全国小・中学校における不登校児童生徒数

校種	R4	R5	倍率(R5÷R4)
小学校	105,112	130,370	1.24倍
中学校	193,936	216,112	1.14倍

子どもたちの中には、社会要因や環境要因の変化にさらされ、心の安定を求めるもの、生活リズムの改善を求めるもの、個別最適化に通ずる特別な配慮を求めるものなどが一定数存在しています。このような背景から、我々は、様々なケースを想定し、ど

表 2 については、(令和 5 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果 本体資料 p.70 より)をもとに筆者が作表したのですが、不登校の児童生徒の数も増加の一途を辿っていることが見てとれます。要因としては諸説あります

のような教育的アプローチで子どもたち個々の学びを支えることができるのかについて、互いに知恵を出し合い、協力・共同的に学び合う場所が必要であると考えます。様々な立場、分野の異なる人たちが集まり、意見を交わすことで今日の教育・保育に関する課題の解決につながると信じています。その場所が、聖隷国際教育学会ではないでしょうか。

まだまだ始まったばかりの小さな学会ですが、教育、保育、心理、国際などの様々な分野からすべての子どもを対象に、明るい教育の未来を切り開くための知見を集結し、「楽しくワイワイ」できる有識者の集いにしていければ嬉しく思います。

聖隷国際教育学会は、学際的で教育や保育に関して興味や関心のある方はどなたでも入会していただけます。また、学会誌も準備しており、紀要の投稿、研究報告の投稿などができます。さらに、紀要投稿については、できるだけ掲載されるよう、助言なども含めたサポート体制を整えています。先述した、発達支援、心理などの分野の他にも、国際バカロレア教育、STEAM 教育、幼児教育、小学校の各教科指導、芸術などにも必要な知見です。様々な立場の方々の入会と発表をお待ちしております。気軽にご連絡いただけますと幸いです。

なお、学会ではTea time などもあり、楽しく交流できる環境を整えています。学会発表では、優しくコメントしてくれる司会者を立てておりますので、日ごろの成果を発表していただけます。

お待ちしております(^_^♪。

学会費納入のお願い

- ・年会費の期間は4月から翌年3月までです。
- ・年度途中から入会されましても期間に応じた割引はございません。
- ・退会手続きをされない限り会員資格は年度ごとに自動継続となります。

<お振込み先>

金融機関名：遠州信用金庫

支店名：中川支店（店番：020）

預金種目：普通

口座番号：0178045

口座名：聖隷クリストファー大学国際教育学会 会計 渡邊拓真

※振込人名義は、会員のご氏名としてお振り込みください。それ以外の名義にてお振り込みの場合、事務局までその旨ご一報ください。

※銀行振込の手数料は会員様にてご負担頂きますようお願い致します。

※金融機関にて発行される振込控をもって、領収書の代わりとさせて頂いております。別途、領収書が必要な場合は、事務局までご連絡ください。ご入金を確認後に発行いたします。

<会費に関するお問い合わせ>

聖隷クリストファー大学国際教育学会 事務局

会計担当 渡邊拓真 takuma-w@seirei.ac.jp

新規入会のおすすめ

保育や教育に関する実践研究は時代の変化に伴いめまぐるしく変わってきています。とりわけ発達支援や教育の国際化、また心理の問題などに関する教育界のニーズは高まる一方です。このような時代の中で、保育や教育に関する情報を収集・発信し、多くの実践家や研究者、卒業生、在校生と共に保育・教育の水準の向上に寄与することを目的としています。

本学会では、保育・教育に関する知識及び指導方法を中心とした実践現場に即した調査・研究とその発表を通じ、学会員相互の研鑽・交流を促進していきます。

【年会費】

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 学園個人会員 | 2,000 円 |
| 2. 一般個人会員 | 3,000 円 |
| 3. 本学学生会員 | 500 円 |
| 4. 法人会員 | 10,000 円 |
| 5. 本学教員会員 | 8,000 円 |

【学会入会申込】👉

・お問い合わせ・



聖隷クリストファー大学

二宮貴之

takayuki-n@seirei.ac.jp

2025年度 事業計画

①学会年次大会（8月9日開催）

テーマ「学びのアップデート、やрмаいか！」

*学会総会や学会員・卒業生等交流会、シンポジウムを開催予定です。

*研究や実践報告などの口頭発表を募集します。ぜひ、学会事務局までお問合せください。

*記念講演会は、昨年度同様に工藤勇一先生をお招きします。2年連続で、氏のお話を伺えるのはまたとないチャンスです。今からスケジュールに入れておいてください。テーマや内容は次号でお知らせします。

*口頭発表の申し込みも次号でご案内します。

②学会誌（2026年3月末刊行予定）

*原稿の種類は総説、論文、研究ノート、調査報告、資料、書評、実践報告、その他です。

*実践報告は査読無しですので、園や学校等での実践をそのままご報告いただけます。

*その他の論文や研究ノートなどは査読があります。

③その他

*研修会やワークショップ・交流会など企画します。随時、ご案内します。

工藤勇一先生、 今年も来られます!!

上の事業計画でも記しましたとおり、8月9日(土)の本学会年次大会、昨年度に引き続き工藤勇一氏をお招きいたします。

『学校の「当たり前」をやめた。』(時事通信社)など多くのご著書やメディアへのご出演などにより、工藤氏の教育改革に向けたお考えに触れる機会は多くあります。とは言え、直接お話をうかがう機会は多くはありませんし、受ける熱量と刺激の度合いは相当なものと思います。

詳細は決まり次第、学会通信やメール、SNSなどを通してお知らせいたします。ふるってご参加ください。

【略歴】

横浜創英中学・高等学校前校長(2020年4月～2024年3月)

東京理科大学理学部応用数学科卒業、公立学校教員、東京都教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長、千代田区立麹町中学校校長(2014年4月～2020年3月)

内閣官房 教育再生実行会議委員(2018年8月～2021年8月)

内閣府 規制改革推進会議専門委員(2021年8月～)

経済産業省 産業構造審議会臨時委員(2021年6月～)

【主な著書】

- 学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる!(時事通信社)
- 麹町中学校の型破り校長 非常識な教え(S B 新書)
- 麹町中学校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること(かんき出版)
- きみを強くする50のことば(かんき出版)
- 学校の未来はここから始まる 学校を変える、本気の教育論議(共著 教育開発研究所)
- 最新の脳研究でわかった!自律する子の育て方(共著 S B 新書)
- 学校ってなんだ!日本の教育はなぜ息苦しいのか(共著 講談社) 等々

